



セントラル愛知交響楽団 コンチェルトシリーズ No.46

コンチェルトの夕べ

2023年 8/29 (火) 開場 18:00
開演 18:45

愛知県芸術劇場コンサートホール

TEL 052-971-5511 名古屋市東区東桜一丁目13番2号(地下鉄「栄」駅下車徒歩3分)

【指揮】リカルド・A.ゴンザレス
(アンシエイトコンダクター)

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番ハ短調Op.37
(ピアノ/市川優月)

ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲Op.43
(ピアノ/小柳さら)

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番ハ短調Op.18
(ピアノ/エヴァ・ゲヴォルギャン)

第18回シヨパン国際ピアノコンクールファイナリストと
パリ・エコールノルマル音楽院ディプロマ取得者による華麗なる協奏曲

【ピアノ】エヴァ・ゲヴォルギャン



【ピアノ】市川 優月



【ピアノ】小柳 さら

入場料 ※未就学児入場不可

指定席(1・2階) 4,000円 自由席(3階) 3,000円

発売日 一般5/31 会員先行5/29.30

※車椅子席は当回事務局のみの取扱い。
※当団会員様は会員先行発売・会員割引価格でのご購入が可能です。[当回事務局のみの取扱い]
※やむを得ない事情で公演を中止、または内容を変更する場合があります。

チケット
取り扱い

- ・セントラル愛知交響楽団 Tel 052-581-3851
- ・愛知芸術文化センタープレイガイド Tel 052-972-0430
- ・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:240-003)

チケットの
お申込み
お問合せ

TEL 052-581-3851 (10:00~17:30/土日祝休)
ホームページからもお申込みいただけます。
<http://www.caso.jp>



【主催】公益社団法人セントラル愛知交響楽団 【特別協賛】ダイドー株式会社 【後援】愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会

【ピアノ】市川 優月 Ichikawa Yuzuki

名古屋市出身。愛知県立天白高等学校卒業。武蔵野音楽大学音楽学部演奏学科器楽コースピアノ専攻卒業。在学中に同大学の選抜学生によるコンサートに出演。第9回横浜国際音楽コンクール学生の部第4位。第36回JPTAピアノ・オーディションD部門奨励賞。第12回岐阜国際音楽祭コンクール一般Iの部審査員特別賞。第24回日本演奏家コンクール一般Aの部入選。パリ・エコールノルマル音楽院ディプロム取得。これまでにピアノを朽名恭子、ジャンルイ・マンサール、橘高昌男、中沖玲子の各氏に師事。ドイツ・リート伴奏法を子安ゆかり氏に師事。大学院にて上原彩子、田村響、横山幸雄各氏による特別講座を受ける。現在、名古屋芸術大学大学院音楽研究科器楽専攻2年に在学中。ヤマハ音楽教室システム講師。

【ピアノ】小柳 さら Koyanagi Sara

愛知県出身。5歳よりピアノを始める。第39回JPTAピアノ・オーディションD部門全国大会優良賞。第12回岐阜国際音楽コンクール大学の部第1位、並びに優秀賞、審査員特別賞。パリ・エコールノルマル音楽院ディプロマを審査員満場一致、felicitations(審査員賞賛賞)を受賞し首席で取得。第32回日本クラシック音楽コンクール大学の部第5位。第13回バーテン音楽コンクール高校の部ベスト20賞。第1回日本奏楽コンクール高校の部審査員奨励賞。大学内のオーディションを経て定期演奏会に出演。2022年度山田貞夫音楽財団奨学生。これまでに、吉岡千恵、隈本浩明、東誠三、尾関佳奈、中沖玲子、山田敏裕の各氏に師事。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、現在、名古屋芸術大学プロフェッショナルアーティストコース3年次在学中。

【ピアノ】エヴァ・ゲヴォルギヤン

Eva Gevorgyan

エヴァ・ゲヴォルギヤンは2004年ロシア人とアルメニア人の両親のもとでモスクワに生まれる。2022年9月からモスクワ音楽院(大学)に進級した際、記念のソロリサイタルがモスクワ音楽院大ホールで開かれるなどピアノ王国ロシアの新世代で最も期待されている若手。

2021年の第18回ショパンコンクールでは最年少ファイナリストの中で円熟さを感じられる重厚な表現と鋭い感性、鉄壁のテクニックで会場の聴衆と世界中のリリスナーを虜にした。

モスクワ音楽院の名門中央音楽学校でナタリア・トゥルル教授に学ぶとともにロシアン・ピアノリズムを代表する巨匠たちに師事。エフゲニー・キーシンやデニス・マツエフなどの支援を受け研鑽を積んできた。ロシアが誇る天才少女としてロシア大統領やイタリア大統領などの元首に演奏を披露している。

数多くの受賞歴の一例をあげると、セント・チェチリア国際ピアノコンクール第1位、ジュリアーノ・ペカール国際ピアノコンクールグランプリ、若きピアニストのためのショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)第1位、青少年ショパン国際ピアノコンクール(スイス)第1位、ロベルト・シューマンピアノコンクール第1位、シカゴ国際コンクールグランプリ、クリーヴランド国際ピアノコンクール第1位、エスベルクホフクラシックピアノフェスティバル優勝、ロシア国立交響楽団によるコンクールグランプリなど50を超え現在も記録を更新している。

「あとが大事」と言われるショパンコンクールにおいて現在のエヴァの演奏活動は際立っており、モスクワ音楽院に在学しながらロシア、ドイツ、スペイン、フランスなどで月に数回ものコンサートに出演、コンチェルト、リサイタルはもちろん室内楽、歌曲の分野においても傑出した音楽性を発揮している。



「お客様の満足度No.1オーケストラへの挑戦」

セントラル愛知交響楽団

コンチェルトの夕べ

【指揮】リカルド・アルサーテ・ゴンザレス

Ricardo Arzate González

メキシコ生まれで、ヨーロッパで教育を受けた指揮者兼作曲家。トルーカ若手音楽家コンクールに優勝し、国費留学生としてイタリア最高峰の音楽院ミラノ・ヴェルディ音楽院にて作曲と指揮を学ぶ。オーディションで選ばれ、世界的指揮者ジャンドレア・ノセダ氏の下で研鑽を積む。ミラノ・トリノ国際音楽祭の指揮者に抜擢され、イタリアを代表するサクソフォン奏者マリオ・マルツイ氏、ミラノ・イ・ボメリッジ・ムジカーリ管弦楽団と共演。トリノ新国立歌劇場をはじめ、北イタリアの複数の歌劇場にてオペラを指揮。活躍の場はイタリアに限らず、ハンガリーのブダペストではハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と共演し、国営テレビにて放送。日本では全国共同制作オペラ東京芸術劇場シアターオペラ(アッシャー・フィッシュ氏の副指揮)の他、兵庫県立芸術文化センターKOBELCOホール、DMG MORI やまと郡山城ホール、愛知県芸術劇場等で指揮。2022年度山田貞夫音楽財団指揮者オーディションにて山田貞夫音楽賞・特選を受賞し、2023年度よりセントラル愛知交響楽団アソシエイトコンダクターに就任。

【管弦楽】セントラル愛知交響楽団

1983年発足。2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年を迎える。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2023年度はアソシエイトコンダクターとして松川智哉、リカルド・A.ゴンザレスを迎える。

定期演奏会、コンチェルトシリーズ、第九公演の他「超!有名曲」「Wコンチェルト」「オペラセミステージ」の各シリーズを自主公演として展開。バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演し、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。



Twitter



Instagram



Facebook



ご協力をお願い

■発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。■出演者への面会・贈り物はご遠慮ください。 ※2023年3月現在の対策です。最新の情報は当団HPにてご確認ください。